

湾奥のウミウシ類

令和4年1月25日、羽田空港周辺の浅場で実施した桁網調査（大田漁協と実施）で、アカエラミノウミウシ（全長31mm）が2個体採捕されました（図5）。ウミウシ類は貝殻が縮小したり、体内に埋没あるいは消失しているため一見貝類には見えませんが、青や赤、黄色など色彩が美しく、愛嬌のある姿かたちから、人気がある貝類の仲間です。

当協会では、主に湾奥海域で桁網調査や刺網調査を行っています。使用する漁具や漁法が限られるためウミウシ類が採捕されることは稀ですが、これまでに湾奥海域で採捕されたウミウシ類（裸鰓亜目）の記録（7例）を整理してみました。



図 1



図 4

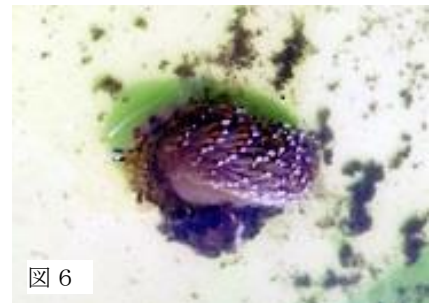


図 6



図 2



図 5



図 7



図 3

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 図 1 : H23. 5. 20 | アカエラミノウミウシ（アマモ場調査） |
| 図 2 : H27. 5. 12 | アカエラミノウミウシ（アマモ場調査） |
| 図 3 : H29. 12. 12 | アカエラミノウミウシ（アマモ場調査） |
| 図 4 : R3. 11. 15 | アカエラミノウミウシ（アマモ場調査） |
| 図 5 : R4. 1. 25 | アカエラミノウミウシ（羽田桁網調査） |
| 図 6 : H30. 5. 15 | カスミノウミウシ（羽田桁網調査） |
| 図 7 : H23. 7. 25 | カスミノウミウシ（トリガイ調査） |